

白 粉

夏、汗ばんだ女性の顔をみて思いだすことがある。

わが国ではじめて水稻に粉剤が試験されたのは、戦後まもない頃、DDT粉剤であった。粗雑な造り方であったが、水稻害虫にそれなりの効き目があった。しかし、わが国は粉剤先進国の欧米の場合と違い、雨の多い気候である。粉剤を散布しても、雨が降れば忽ち流亡してしまう。そこで、わが国に適した付着性、耐雨性のある粉剤を創りださなければならなかった。あれこれ考えても、耐雨性、付着性のある粉剤の着想がなかなか浮かばなかったが、解決のヒントは、汗ばみ化粧くずれした女性の顔である。粉白粉をいきなり顔にはたいても、うまくつかない。下地には、油性クリームを塗る。外国では、水和剤(ヒ酸鉛)の耐雨性を増すため、マシン油乳剤との混用散布が多くみられる。また、汗にくずれにくい白粉の処方がある筈である。処方のヒントは、化粧品会社の学会発表の中に見いだした。脂肪酸で被覆したタルクを用いて、物理的性質を測定した報告である。作物を油性のもので処理するより、粉を油で被覆して製品にする方が、より簡便である。早速、種々の増量剤に、植物油・鉱物油などを添加して試験し、凝集力・耐雨性・付着量をいろいろと変えることができるまで漕ぎつけた。これで、粉剤の散布回数を減らすことができると思っていた矢先、粉剤の仕事から離れることとなった。しかしその後、油処理粉剤が有機リン剤の経時変化防止法、最近ではDL剤として多岐に実用化発展していることは喜ばしいことである。

〔財団法人 日本植物調節剤研究協会理事
クミアイ化学工業株式会社 研究部長 滝田 清〕

目 次

(第14巻第6号)

クリークにおける水生雑草の生態と
防除……………2

＜九州農業試験場 芝山秀次郎＞

1. クリークにおける水生雑草の
生態……………2
 - (1) 水生雑草の種類と主要草種……………2
 - (2) 主要雑草の分布の様相……………4
 - (3) クリークにおける主要雑草
の生活様式と繁殖法……………5
 - (4) 水生雑草の繁茂量とその季
節的、年次的変遷……………5
2. 水生雑草の防除法……………8
 - (1) 水生雑草による弊害……………8
 - (2) 除草剤による化学的防除法……………8
 - (3) その他の防除法……………9
 - (4) 総合的な防除対策……………10

昭和54年度秋冬作芝生関係除草剤・
生育調節剤試験成績概要……………11

＜財団法人 日本植物調節剤研究協会＞

外国文献抄録

土壌における除草剤の消失……………14

新除草・調節剤……………19

表紙の写真は、ケフシグロの種子表皮
細胞を走査電子顕微鏡で撮影したもの、
星状突起型、550倍。

〔写真提供者：笠原安夫氏〕